

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 岡本 拓也
所属 (School) 工学域 電気電子系学類
学年 (Grade) 4年

留学先 (Name of overseas institution)
シドニー工科大学
留学期間 (study abroad period)
2016/02 ~ 2016/12

記入日 (Date) 2016/12/13

留学レポート Study Abroad Report

こんにちは。もうすぐシドニー工科大学にて一年間の交換留学が終わります。このレポートで留学のきっかけや経緯について振り返ってみたいと思います。

私は大学に入学した頃から、海外や英会話に興味を持っており、一年の時に語学プログラムの一環である夏期語学研修（カリフォルニア大学アーバイン校）の説明会に参加しました。しかし、当時は海外旅行すら行ったことがなく、今思い返すとおかしな話ですが、その時は3週間も海外でやっていけるのかと不安になり躊躇して結局申し込みをしませんでした。そして、その夏は初めての海外旅行（ツアー）でベトナムとマレーシアに行ってきました。何気に参加したツアーでしたが、日本とは違う景色や人、すべてに刺激を受け海外に行きたい気持ちが強くなりました。そうして2年の夏、カリフォルニア大学への語学留学に参加しました。それを終えて、さらに自分の英語力を高めて海外で勉強したいと思うようになりました。そんな頃、シドニー工科大学への交換留学の制度があることを知り、ぜひチャレンジしてみたいと思いました。申し込みをする前に出来る限り英語力（特にスピーキングやリスニング）をつけたかったので、春休みにフィリピンへ個人で語学留学をし、日本に帰国した後は、交換留学の必要要件にもなっている **IELTS** の勉強を始めました。

シドニー工科大学に交換留学する際、選択できるコースは二つあります。一つはオーストラリア言語文化課程コースといってオーストラリアの文化を学びながら英語力を伸ばすというものです。もう一つは、現地の大学生とともに自分の興味のある授業を履修するというもので、こちらの方が授業のスピードも速く、課題の量やテストもあり大変です。英語を使って海外の学生と切磋琢磨するのが魅力的に感じ、行くからには前期から数学や統計学の授業をとりたいと考えていたので **IELTS** のスコアを取るべく努力しました。ただ、前者のコースに入ったとしても留学後に再度 **IELTS** にチャレンジしてコースを変更することは可能ですし、実際にそういった日本人交換留学生もたくさんいます。

そして、幸運にも交換留学に行けることになり、いろいろな手続き等の準備を始めたのですがこれがけっこう大変でした。（当たり前ですが、全ての手続きを英語でしなければなりません。）特に、大学寮で生活したいと考えている人は、人気ですぐに埋まってしまうため早めの手続きをお勧めします。ちなみに私が入っていた寮（**Yura**）では、ほぼ毎日イベントがあり、好きな時間に興味のあるものに参加できます。例えば、英語のクラスやスポーツなどはほぼ毎週あり、他にもバーベキューや **Field Trip**、月に一度は少し大きめのイベント（スポーツ大会や **Dinner Party** 等）があったりします。また、上の写真はオリンピック選手が寮に来て話をしてくださったときに撮ったもので、これも寮のイベントの一つでした！寮の設備も充実しており、卓球台やビリヤード台（友達とよく一緒に遊んでいました笑）、**Theatre Room** もありました。部屋のタイプはいくつかあり、一人部屋から最大 **6~8** 人までのシェアフラットが選べます。ちなみに、私は6人部屋に住んでいて、ルームメイトはオーストラリア人、アメリカ人、ドイツ人でした。特に困ったことはありませんでしたが、6人部屋はキッチンがすぐに汚くなってしまいますので注意が必要です…笑

続いて授業についてですが、私の年は3月下旬くらいからのスタートでした。オーストラリアに着いたのが2月16日で、一ヶ月くらいは大学のオリエンテーションや寮のイベントに参加して、その期間中にオーストラリアでの生活をつかみ、友達もできました。

基本的に学部の授業は、**Lecture** と呼ばれる講義タイプのものと **Tutorial** といって講義で学んだ内容について問題を解いたり、**Discussion** をしたりするものから成ります。私が取っていたのは授業の一つ (**Advanced Statistical Modeling**) では、週に一度 **Lecture** があり、そこで統計モデルの選択方法についての原理を学び、**Computer Lab** で **SAS** というソフトウェアを用いて実際のデータに適用していくといった感じでした。課題は授業によって様々ですが、私の場合はレポートや小テストがほとんどでした。**Business** の授業を取っていた人などの話を聞くと、**2000** 字、**3000** 字のエッセイを書くことは普通みたいでみんな大変そうでした。

私は自分の専門分野の授業を履修しましたが、留学を生かして新しいことを勉強してみるのも良いかもしれませんね！大学の **Website** にアクセスするとすべての授業のシラバスが閲覧できるので授業を選ぶ際にとっても参考になります。ただ人気の授業はすぐに埋まってしまうので履修登録はなるべく早めにされることをお勧めします。

さて、授業に慣れてくるとアルバイトをしてみたいと考える人もいるのではないのでしょうか。ここでは、アルバイト探しについて紹介したいと思います。私自身、4月頃からアルバイト探しを始めました。どうせやるなら日本人のいっぱいいる日本食レストランよりも、ローカルのカフェやレストランでアルバイトをしたかったので、**Gumtree** というオーストラリアの求人サイトを使っていたのですが、これが大変。興味がある求人先にメールを送信しても返事すら返ってこないことがほとんど。**Visa** の期間が短いということもあるのですが、かなり落ち込みました。それ以外にも、ファストフードやスーパーにも **apply** しましたが良い返事はありませんでした。そこで、日本人留学生向けの求人サイトも同時進行で使い始めることにしました。私が主に見ていたのは **Jams** という求人サイトです。また、直接履歴書を持ち込むというのもちょっとだけやりました。こうした努力の甲斐あって5月にはカフェでウェ이터として働き始めることができました(時給低かったですが…笑)。アルバイト先ではオーストラリア人を始め、中国人やネパール人といった国際色豊かな環境で働くことができ楽しかったです。結局、朝早いのに耐えられず、後期からはシドニーにある某有名ラーメンチェーン店でバイトしていました。結果的に給料もアップしたので満足しています。

一年の留学を終えて、長期での海外滞在ならびに一人暮らし、海外の大学での授業やアルバイトなど最初は初めてのことがばかりで不安でしたが(いざやってみると実際に大変で…笑)、それでもこの一年で得た経験はかけがえのないものになりました。特に、いろんな考えやバックグラウンドを持った人たちとの出会いはとても貴重でした。この留学を支えてくださった国際交流課の方々や両親、そして留学先で出会ったすべての人々に感謝したいです。